

奨励賞

○設計者

古田 充

- 兵庫県建築士会
- (株)古田建築設計事務所



○寺院・仏閣 (宗教施設)

とたさん かくりんじ 刀田山 鶴林寺 宝物館

- 兵庫県加古川市加古川町

▶▶▶ 選評

兵庫県加古川市にある鶴林寺は、本堂と太子堂が国宝であり、建築史上貴重な遺構をもつ古刹である。当然、寺宝には貴重なものが多く、それらを納める宝物館も重要な役割を担う。

宝物館の中には、多くの寺宝とともに、一間四面堂の形式をもつ国宝太子堂の内陣部分を、彩色を含めて再現したものが納められている。建物は温湿度の調整を行う収蔵庫であると同時に、歴史的な建物が建ち並ぶ鶴林寺境内に対しては、景観を乱さない調和のとれた外観をもつものでなければならない。

建物は鉄筋コンクリート造、本瓦葺き寄せ棟であり、周囲の環境に馴染むように手前のスロープや植栽などが丁寧にデザインされている。人々は本堂、太子堂に参詣した後、宝物館に自然に足を向ける。深く張り出した軒が、静かに人を入口に誘う。軒裏、壁面は極めてあっさりとした仕上げで、いささか物足りなさを感じるほどであるが、歴史的建造物の建ち並ぶ境内のなかに、静かに宝物館を置くという考え方は、穏やかで好感の持てる態度であった。

地元で活動する建築家が、地元の貴重な歴史遺産に敬意を払った作品を結実させているのを目にして、設計姿勢に共感を抱くとともに、優れた作品の質を感じた。

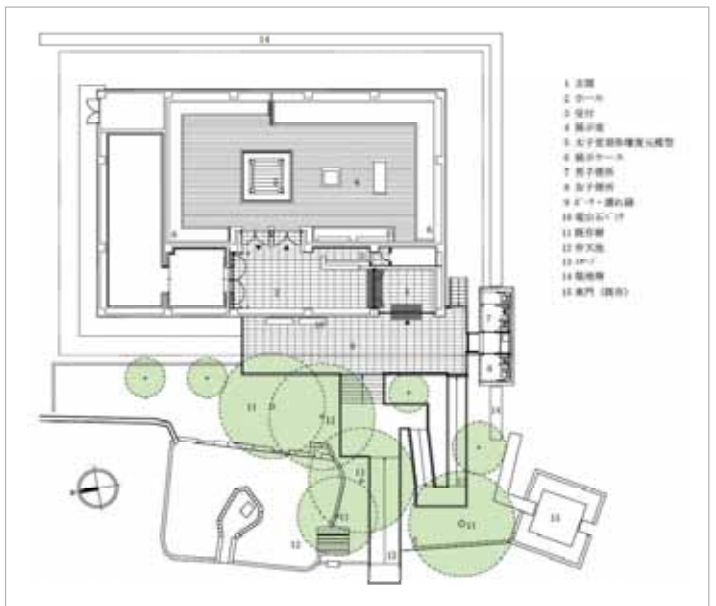
(鈴木博之)



A



B



1階平面図

- A: 歴史的建造物の建ち並ぶ境内のなかに、静かに佇む宝物館
- B: 東側公園から見る。建物は本瓦葺寄せ棟。左側に東門(既存)が見える
- C: 正面アプローチ。スロープや植栽が環境に馴染んでいる
- D: ポーチ・濡れ縁。左手には亀山石ベンチ
- E: 玄関から受付・ホールを見る。正面はコルテン鋼扉
- F: 展示室
- G: 展示室。中央に太子堂須弥壇復元模型



C



D



E



F



G

- 構造・階数：鉄筋コンクリート造、地上1階建て
- 敷地面積：14,562.23㎡ ● 建築面積：648.09㎡
- 延床面積：557.64㎡ ● 竣工：平成24年3月22日

写真撮影：松村芳治